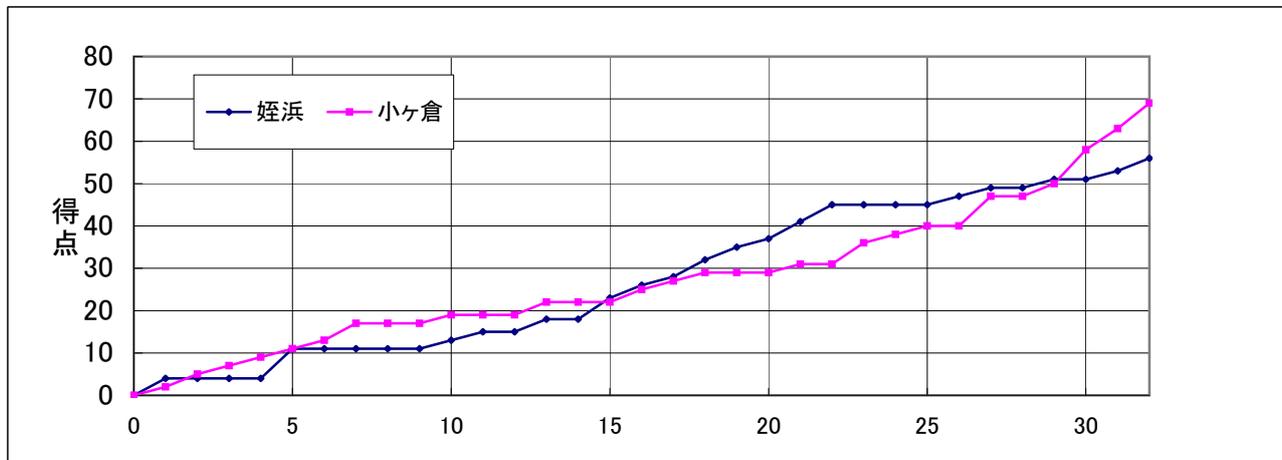


大会名	平成21年度 第30回全九州中学生 バスケットボール春季選手権大会	B2	10:50	男子準決勝															
	期日	2010年(平成22年)3月14日(日)	姪浜 56 (福岡2位) ●	<table border="1"> <tr><td>11</td><td>—</td><td>17</td></tr> <tr><td>15</td><td>—</td><td>8</td></tr> <tr><td>19</td><td>—</td><td>13</td></tr> <tr><td>11</td><td>—</td><td>31</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table>	11	—	17	15	—	8	19	—	13	11	—	31	—	—	—
				11	—	17													
15	—	8																	
19	—	13																	
11	—	31																	
—	—	—																	
会場	大分県立総合体育館	69	小ヶ倉 (長崎1位) ○																

主審 井元 誠 副審 森永 陽一



タイム・アウト(経過時間)

1Q・2Q	3Q・4Q			OT1	OT2
—	22:31	26:18	29:26	—	—

姪浜

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 柿内 輝心 (C)	20	1	8	1	3
5	日野 大嵩	0	0	0	0	0
6	加倉 聖大	—	—	—	—	—
7	* 野口 裕太郎	2	0	1	0	4
8	北岡 翔	—	—	—	—	—
9	* 古賀 達典	0	0	0	0	0
10	* 入山 宥昌	11	0	5	1	2
11	* 山崎 拓	21	5	2	2	2
12	清水 駿佑	—	—	—	—	—
13	本土 聖也	0	0	0	0	0
14	久我 蓮	—	—	—	—	—
15	浦田 一郎	2	0	1	0	3
16	土橋 大樹	—	—	—	—	—
17	原 直輝	—	—	—	—	—
18	幾尾 和貴	—	—	—	—	—
コーチ	鶴我 隆博	—	—	—	—	—
合計		56	6	17	4	14

タイム・アウト(経過時間)

1Q・2Q	3Q・4Q			OT1	OT2
03:01	14:11	18:20	27:01	—	—

小ヶ倉

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 三根 一求 (C)	22	2	6	4	4
5	* 松尾 舜弥	9	2	1	1	2
6	* 山口 智也	4	1	0	1	3
7	* 山口 悟	8	0	4	0	0
8	* 山下 竜平	15	1	6	0	1
9	松岡 慎弥	—	—	—	—	—
10	桑宮 亮	—	—	—	—	—
11	野口 大樹	2	0	1	0	0
12	岩崎 拓哉	—	—	—	—	—
13	井手 威大理	9	3	0	0	0
14	濱野 健太	—	—	—	—	—
15	橋本 悠	—	—	—	—	—
16	中山 阜生	—	—	—	—	—
17	川原 悠	—	—	—	—	—
18	多良 信哉	—	—	—	—	—
コーチ	三根 正美	—	—	—	—	—
合計		69	9	18	6	10

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

1Q 決勝進出をかけた一戦は、両チームともマンツーマンで立ち上がる。姪浜は#4柿内を中心に得点を重ねる。それに対して小ヶ倉は#4三根の1on1を中心にインサイドの#7山口悟にあわせるなどして、さまざまなバターのプレーで対抗する。3分経過したところで、小ヶ倉がタイムアウトを取る。その後、姪浜は#4柿内、#11山崎が3Pを撃つが決まらずリズムをつかめない。小ヶ倉もミスが続く得点とまり、こう着状態になる。しかし、小ヶ倉は#7山口悟、#5松尾のオフェンスリバウンドからの得点で、徐々に点差を明けかかる。11-17の小ヶ倉リードで終了する。

2Q 姪浜はシュートがなかなか決まらずリズムが掴めない。#10入山がオフェンスリバウンドに頑張り、#4柿内、#11山崎のシュートにつなげるが決まらず得点とれない。小ヶ倉も決め手を欠き、#11野口のゴール下と#13井手の3Pの5点にとどまる。得点が思うように取れない小ヶ倉は2回目のタイムアウトを取る。その後、姪浜は#11山崎が3Pやドライブなどで連続8得点を挙げて流れを引き寄せ、ついに逆転する。小ヶ倉も#6が3Pを入れ返すが、26-25で姪浜が1点リードして前半を終了する。

3Q 後半は姪浜#11山崎のスローインで再開する。小ヶ倉#4三根のドライブ、姪浜#15浦田も入れ返し、一進一退の攻防を繰り返す。その後姪浜は#11山崎が、フリースローを2本確実に決め、ルーブシュート、3Pで連続7得点をあげ、流れをつかむ。小ヶ倉は後半1回目のタイムアウト。姪浜はオールコートからのプレスから2-3のゾーンディフェンスに。姪浜の流れで最大11点差になる。小ヶ倉もオールコートでプレッシャーをかけてリズムを掴もうとする。試合の展開が速くなり、両チームともミスが増える。姪浜が1回目のタイムアウト。小ヶ倉はフリースローを4本確実に決める。点差を7点に縮め、45-38で終了する。

4Q 3Qと同様にお互いにプレッシャーをかけた速い試合展開が始まるが、小ヶ倉#5松尾の3P、#8山下のゴール下で、47-45になったところで、姪浜はたまたま2回目のタイムアウトを取る。小ヶ倉#8山下がカットからの速攻で、同点にするが、姪浜#4柿内も入れ返し、シーソーゲームの展開になる。小ヶ倉#13井手が3Pを入れ返し1点差に詰め寄る。小ヶ倉#4三根の3Pとカットインで流れを引き寄せ、51-55の逆転に成功する。姪浜は2分以上を残し3回目のタイムアウトを取る。再開後も流れは変わらず、小ヶ倉#4三根、#13井手の連続3Pで一気に10点差をつける。姪浜#4柿内が3Pで一矢を報いるが、最後まで落ちてボールをコントロールした小ヶ倉が56-69で決勝進出を決めた。両チームともに厳しいディフェンスで速い展開の試合をしたが、最後の勝負所で、3Pを決めた小ヶ倉に軍配が上がった。最後まで試合をあきらめずにボールを追いかける好ゲームであった。

記載者 井上、小幡 (所属) 大分県バスケットボール協会